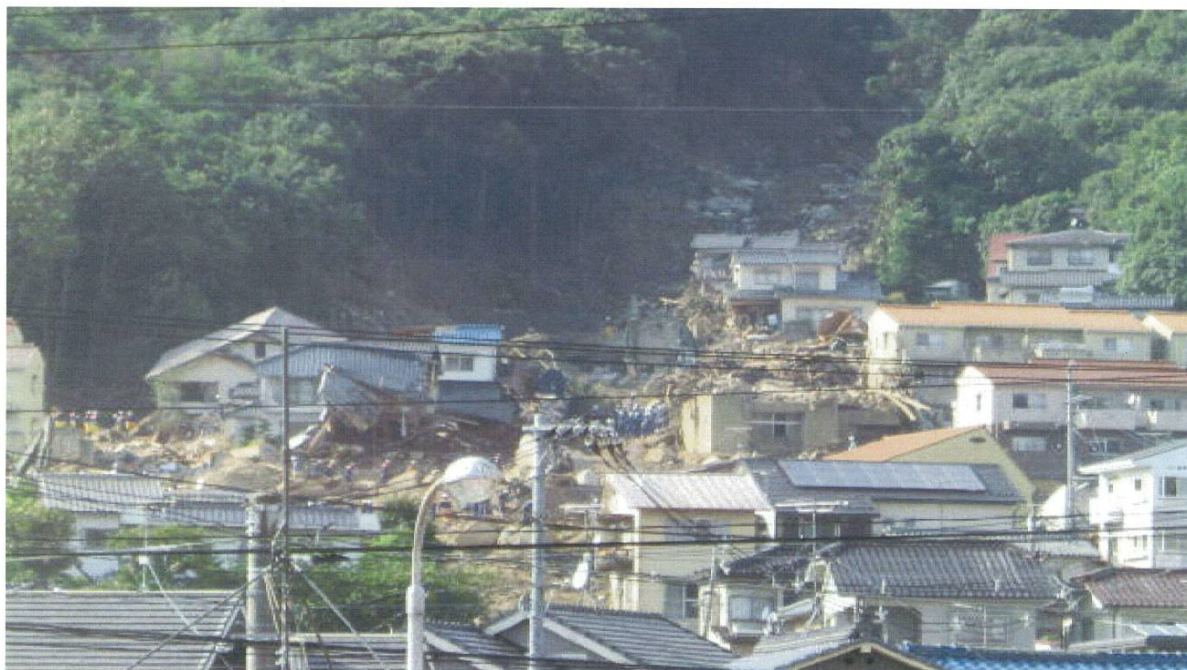


広域緊急援助隊の概要

中国管区警察局

平成26年8月 広島土砂災害

19都道府県警察から広域緊急援助隊員約1400人派遣



発足の契機となった大災害

平成7年1月

阪神・淡路大震災



人的被害

死者・行方不明者約6,400人
負傷者約37,000人

警察の対応

機動隊員等約5,500人派遣

必要性

発災後直ちに派遣するため
広域的に即応できる部隊

平成7年6月

各都道府県警察に

広域緊急援助隊を発足

警備部隊(約2,600人)

交通部隊(約1,500人)



被災地の情報収集

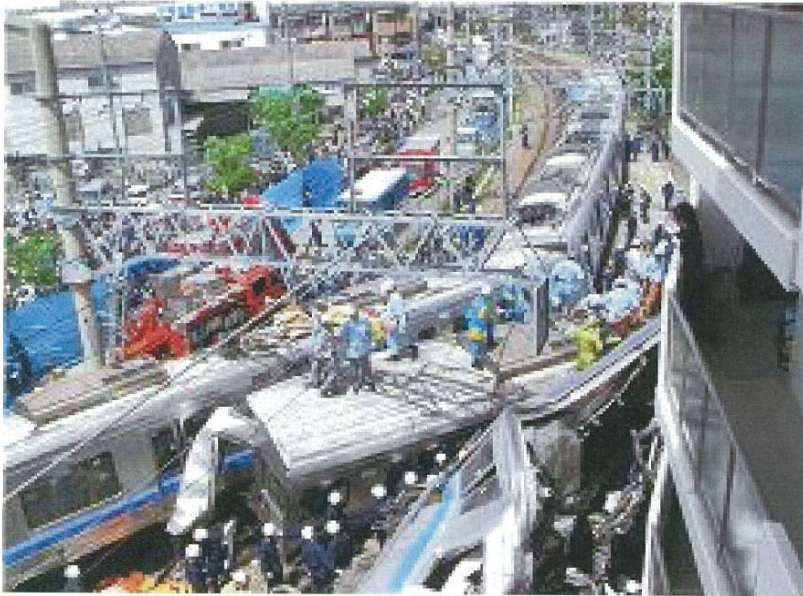


被災者の救出救助



緊急交通路の確保

平成17年4月
JR福知山線列車事故



被害
死者107人、負傷者555人

警察の対応
広域緊急援助隊約170人派遣

必要性
多数の御遺体に
的確に対応できる部隊

平成18年3月
各都道府県警察に**刑事部隊**(約600人)を新設



平成23年3月
東日本大震災



被害

死者・行方不明者約18,500人
負傷者約6,200人

警察の対応

広域緊急援助隊
延べ約73,000人を派遣

必要性

従来の規模を超える刑事部隊
長期的に幅広く対応できる部隊

平成24年5月

広域緊急援助隊を中心とする即応部隊(約10,000人)を編成
概ね2週間経過後に派遣される一般部隊(約3,000人)を新設

